



2015年12月25日

各位

会社名 株式会社 資生堂
代表者名 代表取締役 執行役員社長 兼 CEO
魚谷 雅彦
(コード番号 4911 東証第1部)
問合せ先 広報部長 上岡 典彦
(TEL. 03-3572-5111)

取締役、監査役および執行役員人事のお知らせ

2016年1月1日以降の取締役、監査役および執行役員の人事について、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 取締役

(1) 取締役の異動(2016年1月1日付け)

氏名	新任	現任
岩井 恒彦	代表取締役 執行役員副社長	取締役 執行役員常務

(2) 2016年1月1日以降の取締役体制

氏名	新任	現任
魚谷 雅彦	代表取締役 執行役員社長兼 CEO	代表取締役 執行役員社長兼 CEO
岩井 恒彦	代表取締役 執行役員副社長	取締役 執行役員常務
坂井 透	代表取締役 執行役員常務	代表取締役 執行役員常務
石倉 洋子	社外取締役	社外取締役
岩田 彰一郎	社外取締役	社外取締役
上村 達男	社外取締役	社外取締役

(3) 新任取締役(2016年3月下旬に開催予定の第116回定時株主総会にて決定予定【※】)

氏名	※	現任
大石 佳能子	社外取締役	別添資料参照

(4) 取締役候補者の選定に関する考え方

当社では、定款の定めにより取締役の員数の上限を12名と定めており、適切に経営の監督を行うために、事業ポートフォリオや事業規模などを勘案のうえ、最適な人数の取締役を選任しています。

このうち社外取締役については、一定の発言力の確保の観点から、3名以上選任することとしています。また、現に選任されている取締役の半数以上を社外取締役とすることを目途としています。

社外取締役および社外監査役の選任においては独立性を重視しており、当社が定める社外役員の独立性判断基準をクリアし、かつ精神的にも高い独立性を有する人材を候補者に選定することを原則としています。

なお、当社は昨年12月の中長期戦略「VISION 2020」の発表以来、成長回復に向けた抜本的な構造改革と事業基盤の再構築に取り組んでおり、このような状況では、当社の状況と取り組みを十分に理解した社外取締役に引き続き強力に経営を監督・支援して頂く必要があると考えます。社外取締役のうち岩田 彰一郎および上村 達男の両氏は、2006年6月29日に開催の第106回定時株主総会での社外取締役への選任以来、在任10年を超えることとなりますが、現在の当社の状況に鑑み、また両氏ともに当社からの高い独立性を維持していることから、第116回定時株主総会において再度選任いただくべく社外取締役候補者として選定しました。

2. 2016年3月下旬に開催予定の第116回定時株主総会および同株主総会終了後の取締役会、監査役会にて決定予定の取締役、監査役体制【※】

(1) 取締役

氏名	※	2016年1月1日以降
魚谷 雅彦	代表取締役 執行役員社長兼 CEO	代表取締役 執行役員社長兼 CEO
岩井 恒彦	代表取締役 執行役員副社長	代表取締役 執行役員副社長
坂井 透	代表取締役 執行役員常務	代表取締役 執行役員常務
石倉 洋子	社外取締役	社外取締役
岩田 彰一郎	社外取締役	社外取締役
大石 佳能子	社外取締役	別添資料参照
上村 達男	社外取締役	社外取締役

(2) 監査役

氏名	※	2016年1月1日以降
西村 義典	常勤監査役	常勤監査役
岡田 恭子	常勤監査役	常勤監査役
原田 明夫	社外監査役	社外監査役
大塚 宣夫	社外監査役	社外監査役
辻山 栄子	社外監査役	社外監査役

3. 執行役員

(1) 2015年12月31日付け退任執行役員

本人からの申し出により以下の執行役員が退任いたしますので、お知らせいたします。

氏名	現任
ラルフ アーベック	執行役員常務 経営戦略担当

(2) 2016年1月1日付けの執行役員体制

上記(1)の事由により、12月3日発表の2016年1月1日以降の執行役員体制を、下記のとおりに変更いたします。

氏名	2016年1月1日以降
魚谷 雅彦	代表取締役 執行役員社長 【CEO、取締役会議長】 経営戦略、コーポレートコミュニケーション、 内部監査担当 グローバルコスメティクス・パーソナルケアブランド 事業担当
岩井 恒彦	代表取締役 執行役員副社長 【技術イノベーション本部長兼技術戦略本部長兼 品質保証本部長】 研究開発、SCM、技術戦略統括担当 技術企画、薬務、品質保証、フロンティアサイエンス 事業担当 リーガル・ガバナンス、コンプライアンス、サステナビ リティ戦略統括担当
坂井 透	代表取締役 執行役員常務 【資生堂ジャパン株式会社 代表取締役執行役員社長 CEO】 日本地域統括担当
島谷 庸一	執行役員常務 【研究開発本部長】
青木 淳	執行役員 【人事本部長兼人事部長】 中国事業革新プロジェクト担当 秘書・渉外担当
ジャン フィリップ シャリエ	執行役員 【資生堂アジアパシフィック Pte.Ltd.社長兼 資生堂シンガポール Co., (Pte.) Ltd.社長】 アジアパシフィック地域統括担当
藤原 憲太郎	執行役員 【資生堂(中国)投資有限公司総経理】
林 高広	執行役員 【クリエイティブ本部長】 宣伝・デザイン、企業文化担当

氏名	2016年1月1日以降
カタリーナ ヘーネ	執行役員 【グローバルプロフェッショナル事業本部長】
保坂 匡哉	執行役員 技術イノベーション本部長付
亀山 満	執行役員 【グローバルICT※本部長兼グローバルICT※部長】
櫛田 靖	執行役員 【SCM本部長】
岡部 義昭	執行役員 【グローバルプレステージブランド事業本部 SHISEIDOブランドユニットブランドディレクター】
塩島 義浩	執行役員 【リーガル・ガバナンス本部長】 コンプライアンス、サステナビリティ戦略担当
副島 三記子	執行役員 【美容統括本部長兼資生堂ジャパン 株式会社美容統括本部長】 ビューティークリエーション担当 日本地域お客さま情報担当
杉山 繁和	執行役員 【資生堂ジャパン株式会社 コスメティクスブランド事業本部長】
直川 紀夫	執行役員 【最高財務責任者 CFO】 財務、経営管理担当
田邨 真理	執行役員 【グローバルプレステージブランド事業本部長】

※ICT: インフォメーション&コミュニケーションテクノロジー

以上

新任取締役候補者
大石 佳能子氏について

1. 招聘理由

- ・ 当社では社外取締役をコーポレートガバナンスの要の一つと捉えており、会社から独立した立場からの業務執行へのモニタリング機能を果たすことを通じて企業価値および株主価値の最大化に寄与することが重要な役割であると考えています。
- ・ このため、社外取締役には、取締役会の一員として多様な視点・多様な経験に根ざした高い能力を発揮していただくことが重要であると考えています。
- ・ 大石氏は、長年にわたり国内外で経営に携わってきたキャリアなどを活かし、患者視点からの医療業界の変革に取り組む現役経営者です。その幅広い経験や知見を活かし、社外取締役として当社の経営をモニタリングすることに加え、「お客さま起点の企業活動」を通じた企業価値の向上にも寄与いただけると考え、同氏を社外取締役候補者に選定しました。

2. 略歴

1961年3月24日生まれ

1983年 3月	大阪大学法学部卒業
1983年 4月	日本生命保険相互会社
1986年 9月	ハーバード大学大学院入学
1987年 8月	マッキンゼー・アンド・カンパニー・インク ニューヨーク支社
1988年 6月	ハーバード大学大学院経営学修士(MBA)取得
1988年 11月	マッキンゼー・アンド・カンパニー・インク 東京支社
1993年 1月	マッキンゼー・アンド・カンパニー・インク パートナー
2000年 6月	株式会社メディヴァ代表取締役(現)
2000年 7月	株式会社西南メディヴァ(現 株式会社シーズ・ワン)代表取締役(現)
2001年 8月	アスクル株式会社社外監査役
2002年 8月	アスクル株式会社社外取締役
2004年 8月	医療法人社団プラタナス総事務長(現)
2010年 6月	アステラス製薬株式会社社外取締役
2015年 6月	江崎グリコ株式会社社外取締役(現)
〃	参天製薬株式会社社外取締役(現)
〃	スルガ銀行株式会社社外取締役(現)

主な公職など:

大阪府「まち・ひと・しごと創生推進審議会」委員(現)

以 上